

**福岡市地球温暖化対策実行計画策定に係る**

**パブリック・コメント手続**

**〔意見要旨と対応〕**

**令和4年8月**

**福岡市**



## 1 パブリック・コメント手続の実施概要

### (1) 実施の目的

福岡市地球温暖化対策実行計画（以下「計画」といいます。）の策定にあたり、市民・事業者等との情報共有を図り、市民・事業者等の意見を反映させるため、パブリック・コメント手続によって原案を公表し、意見募集を実施しました。

### (2) 意見募集期間

令和4年7月1日（金曜日）から令和4年7月31日（日曜日）まで(1ヶ月)

### (3) 実施方法

#### ①計画原案の公表方法

計画原案を情報公開室、情報プラザ、環境局脱炭素社会推進課、各区役所情報コーナー、入部・西部出張所において配布するとともに、市ホームページに掲載しました。

#### ②意見提出の方法

意見については、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参による受付を行いました。

### (4) 意見の提出状況及び対応

#### ①意見提出者総数

23名

#### ②意見件数

55件

#### ③意見への対応

- ・修正 : 6件
- ・原案どおり : 12件
- ・記載あり : 5件
- ・その他 : 32件

#### ④意見の分類

意見の分類	件数
計画策定の背景・意義に関する意見	3件
現況とこれまでの取組みに関する意見	4件
都市の将来像に関する意見	3件
計画の目標に関する意見	2件
対策・施策に関する意見	35件
計画の進行管理に関する意見	1件
その他	7件
<b>合計</b>	<b>55件</b>

## 2 市民意見要旨と意見への対応と考え方

【凡例】 修正	: 意見趣旨に基づいて原案を修正するもの
原案どおり	: 意見趣旨に基づく原案の修正がないもの
記載あり	: 意見趣旨が原案に記載されているもの
その他	: 計画に関わらず個別の取組等への要望・提案など

### (1) 「計画策定の背景・意義」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
1	気候危機であること、それに対する行動が必要であることをより積極的に伝えるべき。	記載あり	「気候危機」については、計画本編第1章の「計画策定の背景・意義」、103頁の「温暖化の影響に対する国の認識」において記載しているほか、令和4年7月に宣言した「脱炭素社会の実現に向けた福岡市行動宣言」を計画本編の表紙裏に掲載しております。
2	基準年度（2013）・目標年度（2030）が第四次計画と同じだが、今回の原案が第五次実行計画になる、という理解でよいか。 「チャレンジ目標」の2040年が示されていることもあり、次期計画を検討しているのか、状況の変化により第四次計画を見直す必要が出てきたのか、気になった。	その他	今回の原案が第五次実行計画になります。近年の猛暑や豪雨などの気象災害の激甚化、パリ協定を契機とした国内外の脱炭素化の潮流を踏まえ、これまでの低炭素から脱炭素のまちづくりへと、積極的に取組みを進めていくために現計画を見直すこととしたものです。
3	図13「計画改定の経過」の福岡市の欄にある（予定）は不要ではないか。	修正	ご指摘のとおり、計画本編19頁図13の（予定）の文言を削除いたします。

### (2) 「現況とこれまでの取組み」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
4	「原発の再稼働や再生可能エネルギーの拡大、省エネの進展などにより、基準年度比約 29%（2019年度時点）の減少となりました。」とあるが、その後原発に関する記述がない。 原発稼働ありきのゼロカーボン計画であってはならないと思う。	その他	計画では、脱炭素社会実現に向けて、市民や事業者のみなさまと一体となって、「脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換」「住宅や建築物における省エネルギーの推進」「再生可能エネルギー利用拡大」などによって、温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいくこととしております。
5	計画本編33頁の家庭欄の20.2GJ/世帯は、集めたデータの処理の何かが間違っていると思う。私の家では2021年において電力量1843kWh/年、都市ガス254m <sup>3</sup> /年で熱量換算は29.7GJ/年である。我が家は省エネを徹底、世の中の1/3程度になっており、おそらく50～60GJ/年/世帯の値になると思われるので、根拠とした使ったデータに不備があってもそのまま信じ、事務的に処理すれば楽だし時間もかからないと思うが、せつかく作成する公的資料なので心を込めて作成されることを切望する。	原案どおり	本計画のエネルギー消費量の算出につきましては、福岡市統計書のデータを用いて算出しております。
6	自動車の目標が達成できていないが、新たな計画ではどのように取り組んでいくのか。	その他	自動車部門における具体的な取組みの方向性として、「公共交通等の利用」、電気自動車等の導入促進や公共充電設備、水素ステーション等のインフラ整備の推進などによる「自動車の脱炭素シフトの推進」、 「シェアリング等の推進」を掲げ、自動車の利用に伴う温室効果ガスの排出削減に取り組んでまいります。
7	「現計画の進捗状況」の表は重要だが概要版としては読み取りにくいと感じる。原案では「指標→現状値→目標値→コメント」となっていて、1）計画と現状を行ったり来たりして、2）現状値の評価についてははっきり言及されていない。項目の順番としては「指標→目標値→現状値→評価→コメント」として、評価の列に◎や△、もしくは%等で達成状況を簡潔に表した上で、まとめ（コメント）の列はその理由や背景、解釈を記載するということはできないか。	修正	ご意見を踏まえ、現状での達成状況をわかりやすくお伝えできるよう、以下のとおり計画概要版2頁の (2) 現計画（第四次）の進捗状況の表の構成を以下のとおり修正いたします。 (左から) 指標→目標値→現状値→まとめ

(3) 「都市の将来像」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
8	自分の住んでいる町がこんな風になったら楽しいと思う。みんなで頑張りたいと思う。	その他	市民や事業者のみなさと一体となって「カーボンニュートラルを实装した都市」実現に向けて取り組んでまいります。
9	2040年度の排出量をどのくらいまで削減するのか数値を示すべきではないか。	原案どおり	2030年度以降の具体的な削減量につきましては、算定の基礎となる国の数値も示されておらず、電源構成についても複数のシナリオが想定されている段階であること、また、今後の様々な技術革新の進展、新たな製品やサービスの普及等、不確実な要素が多いことから、現時点でお示しすることは困難です。国の地球温暖化対策計画は3年をめぐりに目標及び施策について検討が行われることとされておりますので、検討内容を踏まえて本市の実行計画についても適宜、必要な対応を行ってまいります。
10	計画原案の施策を1ページのイラストにまとめており、カーボンニュートラルの姿が市民にもわかりやすくイメージできると思う。一方、市民にとって「便利な世の中になる」とのイメージにはつながりにくいのかと思った。そこで、次のイラストを追加してはどうか。原案には記載されていない項目にもなるので、参考までに。 <イラスト追加案> ・オンライン手続き ・ドローン物流 ・MaaS ・スマート農業 ・自動車の自動運転	修正	ご意見を踏まえ、「オンライン手続き」「MaaS」「スマート農業」「自動運転」について文言を、「ドローン物流」についてイラストと文言を追記いたします。

(4) 「計画の目標」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
11	二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出削減には取り組まないのか。	記載あり	計画本編43頁の「対象とする温室効果ガス」、45頁の表10「国の対策導入及び電源構成の変動による削減量の推計に用いた削減方策」に記載のとおり、代替フロンやメタン等の二酸化炭素以外の温室効果ガスについても排出削減に取り組んでまいります。
12	脱炭素社会の実現は全世界、また日本全体で目指すものだと思うが、基礎自治体である福岡市において高い目標を掲げチャレンジすることは、意識づけという点で大切なことだと思う。	その他	世界や日本がめざす脱炭素社会の実現に向けて市民や事業者のみなさと一緒になって取り組んでまいります。

(5) 「対策・施策」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
13	脱炭素社会の実現を目指す上での視点が記載されているが、脱炭素化で経済が疲弊することはあってはならないと思う。ライフスタイル・ビジネススタイルの転換等を通じて、脱炭素化のみならずうまく経済循環するよう取り組んでいただきたい。	その他	ライフスタイル・ビジネススタイルの転換を進めることなどにより、59頁に掲げる「脱炭素を経営にとり込み、持続的な成長を続けるまち」を目指してまいります。
14	～コラム～ 地域循環共生圏 「都市と地方がお互い補完しあい」とあるものを、福岡市で取り組むとき、都市と地方が対等な関係性で行い、地方が何かする時、借金漬けにならないやり方ができるよう配慮してもらいたい。	その他	地域循環共生圏は、地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指すものです。

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
15	何を買えばエコなのかわかるように二酸化炭素の見える化の取組みを推進してもらいたい。	その他	CO2排出量の見える化を図るカーボンフットプリント制度が国において検討されています。国の状況も踏まえながら、環境に配慮した「エシカル消費」を促進してまいります。
16	未来の世代である小中学生などの子ども達に環境に関する学習をしっかりとってもらいたい。	その他	計画本編54頁の「脱炭素型ライフスタイルへの移行」に記載のとおり、小・中学生を対象に、最新の情報を取り込んだ環境教育・学習を実施してまいります。
17	計画本編の53頁『「衣」「食」「住居」「移動」など日常生活での二酸化炭素を排出しない暮らしへの転換に取り組みます。』について衣食住など生活を送る中で、ある程度はどうしても二酸化炭素を排出してしまうと思うが、排出しない暮らしは現実的に可能なのか。排出を可能な限り抑制する暮らし、という形の方が良いのではないか。	原案どおり	ご意見をいただいた箇所につきましては、今後取り組むべき方向性を記載しているものです。
18	一度建ってしまうと何十年も使用するものなので、新築時での建物の省エネ化・創エネ化を積極的に進めてもらいたい。	その他	計画本編55頁の「住宅の省エネルギー化」、63頁の「建築物の省エネルギー化」に記載のとおり、住宅、建築物の省エネルギー化を推進してまいります。
19	「〇脱炭素に関する理解促進」はこれからの社会を担う子ども・若者たちの環境問題の意識を養う、とても良い取組みと思われる。 一方で、具体的な周知啓発の方法が、上記のみに感じた。 原案の中で、省エネ家電の利用やエシカル消費を心がける等、様々な対策が示されているので、その対策を知ってもらうための周知啓発方法（SNS活用や専用ポータルサイトの開設など）についても方向性が示されていると良いかと思う。	原案どおり	市ホームページや市政だより、SNS、出前講座やECOチャレンジ応援事業、環境フェスティバルをはじめとしたイベントなど、様々なチャネルや機会を通して、脱炭素に関する啓発に取り組んでまいります。
20	「電源構成」の削減内容を記載するとわかりやすいと思った。	修正	基準年度である2013年度の排出係数と2030年度の排出係数（想定）を記載いたします。
21	こんなに暑いのは、都市部のヒートアイランド現象が原因と考えられるため、省エネにもなる都市の緑化を進めてもらいたい。	その他	計画本編63頁の「建築物の省エネルギー化」、87頁の「みどりあふれるまち並みの形成」に記載のとおり、街路樹や公園整備など身近な緑づくりを進めるとともに、都心部機能更新誘導方策など様々な制度を活用し、緑化を誘導してまいります。
22	EV、FCVはガソリン車と比べて、現状では高額であり、ガソリン車より安くなるくらいの助成をするべきだと思う。	その他	ガソリン車から電気自動車、燃料電池自動車への移行を促進するため、車両購入や充電設備設置に対する助成を行っており、令和4年度の補助枠は政令市最大規模です。補助の在り方については、適宜検討してまいります。
23	電気自動車の導入推進について、電気自動車は走行中CO2をほとんど排出しないと思うが、製造時のCO2排出量は従来の自動車より多いと聞いたことがある。また、電気も化石燃料等から発電されたものであり、九州における発電は脱炭素が進んでいるとのことだが、電源構成によっては実質的にCO2排出量が多くなる場合も考えられる。電気自動車を推進した場合、車のライフサイクルや発電所の電源構成等を踏まえた総合的な意味でどの程度の脱炭素につながるのかがあればわかりやすいと思う。	原案どおり	ガソリン車から電気自動車への切り替えを含め、どのような行動が、どの程度のCO2排出削減につながるのかを分かりやすく説明したリーフレットを作成することとしております。このリーフレットを活用するなど、ライフスタイル・ビジネススタイルの転換が図られるよう、啓発に努めてまいります。

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
24	EVの充電インフラの拡充に関して、急速充電設備を市有施設・公共用地に整備していくとのことだが、EVを所有して運用してみたところ、必ずしも設備の設置・維持コストが大きくなると思われる急速充電設備でなくとも、長く止める駐車場(例えば、駅の近くの駐車場)などに比較的設置・運用コストが低くなると思われる普通充電の設備があれば、そこに車を止めて電車に乗って天神や博多に出ている間に普通充電をするというような運用ができ、十分便利にEVが運用できるようになると感じている。 また市中の急速充電設備はほとんどの場合30分を上限として車の移動を求められることが多く、逆にこのように長く車を置く場合に適していないので、車を長く止めることが想定される場所では必ずしも急速充電は必要ではなく普通充電が十分実用的なので、公共の駐車場に設置・維持コストの低い普通充電設備を整備していくということを考えて頂きたい。	その他	電気自動車の普及を進めるためには、充電設備の充実が不可欠であり、現在は、設置にあたり特に費用がかかる急速充電設備に対して、補助を行っているところです。公共用充電設備の設置のあり方については、電気自動車の利用実態等を踏まえながら、適宜検討してまいります。
25	計画本編の71頁「移動する手段や場所のシェアリング等に取り組みます。」について、場所のシェアリングがどのように温室効果ガス排出量削減につながるのイメージできない。場所をシェアしても人が集まるのであれば、その分の移動に伴って温室効果ガスを排出してしまい、削減につながらないように思う。	原案どおり	場所のシェアリングにつきましては、駅に設置された宅配便ロッカーなど受取場所のシェアリングによる再配達の削減を想定しております。
26	EVカーシェアリングについては、利用者にメリットがあるとともに、環境に配慮できるEVを世間に認知してもらえ良い取組みだと思う。	その他	脱炭素に資するカーシェアリングの普及を進めてまいります。
27	廃棄物＝ゴミは、物質文明がもたらした難題で、地球温暖化と同様、貴部署の皆さんも含めこれから長く生きる若者にとって避けて通れない深刻な課題であり、ゴミ根絶なくして未来はないと思う。廃棄物の欄にポイ捨てごみの項目を入れ、ポイ捨てゴミは、未来を脅かす凶器であり根絶の必要性を記述していただきたい。	原案どおり	廃棄物の不法投棄対策につきましては、「循環のまち・ふくおか推進プラン」において、取り組んでまいります。
28	「食品廃棄物の資源化の推進」の、「家庭から出る生ごみの堆肥化の推進を図ります」のやり方として、生ごみにかまう時間がとれる家庭は現役世代は特に少ないかと思う。例えば生ごみの堆肥化をしている家庭で希望者に野菜の種(ゲノム編集や遺伝子組み換えしてないもの)をプレゼントする、などの取組みをしてはどうか。	その他	廃棄物の発生抑制につながる生ごみの堆肥化などのリサイクルの取り組みについて普及促進を図ってまいります。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
29	プラスチックの分別回収をすすめてもらいたい。分別回収をしていない都市は少なく、転出転入のときも戸惑う。		
30	プラスチックごみの回収を始めたとお知らせがあったが、種類が限られている。多様な種類のプラスチックも回収して欲しい。	その他	
31	他都市では、プラゴミは分別・回収が行われているので、プラスチックごみ焼却量減のため、福岡市でも実施してほしい。		

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
32	フロンガスはオゾン層を破壊するからもう使用していないと思っていたが違うのか。	その他	オゾン層を破壊するCFC（クロロフルオロカーボン）等のフロンガスに代わって、オゾン層を破壊しないものの温室効果が大きいHFC（ハイドロフルオロカーボン）等の代替フロンが現在使用されていることから、これらの漏えい防止、回収・適正処理の取組みを進めてまいります。
33	昨今の電力需給ひっ迫について、再エネ「増」、火力「減」とすると、電力供給の安定性が崩れ、計画停電や節電要請の頻度が高くなるのではないかと。	その他	電源構成をはじめとする電力供給の安定性確保に向けた取組みは、国のエネルギー政策の枠組みのなかで検討されております。
34	水素エネルギーについては、世間の認知が少ないため、行政が主となって需要創出に取り組むことはいいこと。	その他	引き続き、脱炭素に資する水素社会の実現に向けた取組みを推進してまいります。
35	太陽光発電の導入について、太陽光パネルの耐用年数は20～30年で、近年急速に設置が進んでいることから、将来的に耐用年数を経過したパネルの大量廃棄が発生し、処分場のひっ迫や一部パネルからの有害重金属の流出、不法投棄の発生等の懸念があると聞いたことがある。大量廃棄までにはまだ時間がありリサイクル等の技術革新もあるかもしれないが、そのような課題もあるということはどこかに記載があってもよいのではないかと。	原案どおり	事業用太陽光発電の廃棄費用の源泉徴収型の積立を行う国の制度や、福岡県において全国初の太陽光発電設備のリサイクルのスキームが確立されていることから、これらについて広報等を行ってまいります。
36	現在、福岡市では市面積の3分の1が森林と、豊富な森林資源を有しているが、木質バイオマス発電・熱利用についての取組みを考えているのか。また、木質バイオマスだけではなく、他の再生可能エネルギーの導入推進を具体的に盛り込まないのか。	記載あり	計画本編80頁、81頁の再生可能エネルギーの等の導入推進において記載しているとおり、森林の間伐等で生じた建築用材とならない木材を木質バイオマス発電所等の燃料材として活用しているほか、その他再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでまいります。
37	「林業の振興」の「間伐などを実施します」は、例えば市内ででた間伐材で作ったわりばしなど、日常でよく使うものが市役所1階の売店で売ってあると市民も協力しやすいと思います。	その他	適正に管理された森林の木材利用を推進することは炭素貯留の観点から重要と考えております。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
38	「油山市民の森の再整備」について。森林保全ボランティア等、直接的に吸収源の保全・再生に携わる市民の割合は小さいことから、森林環境教育や体験プログラムなどの親しみ場づくりが重要だと思う。その際は、86頁のコラム（下段）でも触れられている通り、気候変動と生物多様性の損失への対策は並行して実施していく必要がある。生物多様性や既存の動植物種への配慮等について言及いただきたい。	記載あり	計画本編84頁のめざす姿において記載しているとおり、生物多様性を維持しながら、温室効果ガスの吸収源として森林等の保全に取り組んでまいります。
39	「森林由来のオフセット・クレジットを購入し」という部分の意味が分からなかったため、どこかで説明があった方がよいのではないかと。	修正	ご意見を踏まえ、計画本編の用語集に説明を加えます。



番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
40	みどりあふれるまち並みの形成を積極的に進めてほしい。天神ビッグバンなどの建設計画や植栽や緑化計画のみではなく、今ある緑を保持することを意識したまちづくりが必要。福岡市の気温上昇は他都市と比べても大きいのが実態である。市民の暮らしを守るためにも、まちの緑の保全を優先してもらいたい。	その他	計画本編87頁のみどりあふれるまち並みの形成において記載しているとおり、都市部での緑化に取り組んでまいります。
41	可能であれば、炭素吸収に関する行政の取組みとして、ネガティブエミッション技術の研究を促進するような取組みを進めてほしい。	その他	計画本編62頁の「脱炭素関連のイノベーションの創出」において記載しているとおり、ネガティブエミッション技術を含むイノベーションの創出に向けた環境づくりを行ってまいります。
42	脱炭素の取組みは、短期的には市民ひとり一人の取組みが大変重要であるし、また、長期的には意識せずとも誰もが脱炭素行動をとっている状態が理想であるとする。そのため、行政は、市民への広報啓発や脱炭素行動の後押しとなる支援制度の拡充のほか、未来を見据えた新たなイノベーションの創出の支援をしっかりと行ってほしい。	その他	市民・事業者向けのリーフレットや出前講座、市ホームページ、市政だよりなど、様々なチャネルや機会を通して、広報に取り組んでまいります。 また、集合住宅への太陽光パネル設置や蓄電池の導入への補助や電気自動車、燃料電池自動車等の購入助成、イノベーションの創出の支援を行ってまいります。
43	福岡市では近年、水害などの大きな災害は起きていないが、線状降水帯の発生など、災害発生の危険性が高まっていると思うので、災害につよいまちづくりを進めてほしい。	その他	計画本編90頁の「自然災害・沿岸域」において記載しているとおり、雨水管の整備などの浸水対策に取り組んでまいります。
44	福岡市においては、地域特性を考えると、以下の取組みが重要ではないかと考える。 ・建築物の新規又は建て替え時のハード面の対策 ・省エネ機器、再エネ設備、EVなどの導入 ・市民ひとりひとりの行動の変容 また、これらの実施主体である事業者（特に中小企業）や、市民ひとりひとりが積極的に取り組みたくなる様なインセンティブや仕組みづくり、それらの周知広報が必要ではないか。	その他	脱炭素社会の実現には、市民や事業者の脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を推進していくことが重要です。 そこで、日常生活や職場での脱炭素に係る取組みを分かりやすく紹介する市民・事業者向けパンフレットを計画改定にあわせて作成することとしております。 また、出前講座や市ホームページ、市政だより、ECOチャレンジ応援事業、環境フェスティバルなどのイベントを通じた啓発など、様々なチャネルや機会を通して、広報に取り組んでまいります。
45	“脱炭素に関する理解促進”にて、小中学生や大学への教育は、ぜひ実施していただきたいと思う。他にも、消費者の多くを占める社会人や主婦、高齢者など、すべての人への教育も大切であるとする。地元TV局やラジオ、SNS、バス停広告、鉄道駅などを活用して、できる限り多くの市民に、脱炭素に興味を持ってもらう取組が必要と思う。		
46	行政が市民や事業者を巻き込んで取組みを進めてもらうため広報啓発をしっかりとっていただきたい。		
47	CO2削減見込量と成果指標が計算されているが、これらの目標が達成された場合、具体的に市民生活にどのような好影響が考えられるか。数値だけではなく達成した後の生活がどう変わるのかをイメージできると、より理解を深められると思う。	原案どおり	計画本編36、37頁に都市の将来像を記載しております。広報啓発を実施するにあたっては、脱炭素社会を実現したときのイメージなど、市民のみなさまに分かりやすくお伝えしていきたいと考えております。

(6) 「計画の進行管理」について

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
48	2030年度の目標達成に向けて排出状況を踏まえた進行管理を行っていただきたい。	記載あり	計画本編97頁の「進行管理」において記載しているとおり、PDCAサイクルによる適切な進行管理を行ってまいります。

(7) その他

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
49	原案作成に関わった皆さんの努力には敬意を表するが、原案の目的(→受け取る側が理解し、行動を期待する)にかなった案になっているかを考えて頂きたい。せっかく作成するのであるから、事務的に前例に見習って作成するのではなく皆さんが良く理解して心を込めて作成していただきたい。厳しい意見になるが、環境に関わる言葉を並べ、データやグラフを示して書類として立派に見えるが、この資料が、温暖化対策の協力要請であることは分かっても、受け取る側は、読んでも何をすれば良いか分からずに、資料は捨てられると思う。作成する皆さんが、何のため、何を言いたい、何を伝えたいかを、正確に判ってないと体裁は整っても書類としては不備と言える。私は、福岡市の宣言文をしっかり整え、それを表紙として、実行計画書を添付するものとして、第6章のPDCAが機能するような温暖化対策のために、市民、企業、官民の事務所ビル、業務施設、商業施設、運輸会社などに対する要請事項と行政側としての支援や仕組みをまとめるほうが良いと思う。	原案のとおり	計画本編の第5章「対策・施策」において、市民や事業者の取組例といった形で、市民や事業者のみなさまに取り組んでいただきたい具体的な内容を記載しております。また、これらの内容がより伝わるよう、リーフレットを作成するなどして、市民、事業者のみなさまへできるだけわかりやすく広報していきたいと考えております。なお、福岡市行動宣言につきましては、計画本編の表紙裏に掲載しております。
50	漢字と英語が多くて難しい。わかりやすく伝えてほしい。	原案のとおり	分かりづらい語句については、用語集で説明しております。なお、計画の内容を簡潔にまとめた市民向けリーフレットを作成するなど計画の周知を行うこととしています。
51	再生可能エネルギーを増やしていくべき。市から国へ働きかけてもらいたい。	その他	再生可能エネルギーの拡充については、計画本編111頁に記載の協議会等を通じて、引き続き提言活動を実施してまいります。
52	スペースに余裕がないかもしれないが、エシカル消費、ESG指標、ZEH、ZEB、HEMS、BEMS、V2Hシステムなど概要版に専門用語の注釈があると読みやすいように感じた。	修正	ご意見を踏まえ、計画概要版に注釈を加えます。
53	地球温暖化対策の実行計画は、科学的な側面が強く内容が難しいのでパブリック・コメントによる意見が集まりづらいように思う。参考に福岡市環境審議会地球温暖化対策部会の議事録を読んだが、意見している委員がどのような分野の専門家なのか知りたいと思った。	その他	本資料に記載のとおり、今回のパブリックコメントでは23名から合計55件のご意見をいただきました。福岡市環境審議会委員につきましては、計画本編123頁に一覧を記載しておりますのでご参照ください。

番号	意見要旨	対応区分	意見への対応と考え方
54	福岡市の脱炭素関連の予算と目標とする費用対効果について説明が欲しい。	その他	<p>令和4年度の脱炭素関連の予算、及びその削減効果につきましては、予算案に係る参考資料として記載しているところであり、市ホームページにも掲載しております。</p> <p>●令和4年度予算案に関する参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来につなぐ脱炭素のまちづくり 予算額732,230千円</li> <li>・令和4年度当初予算における市事業全体での温室効果ガス（CO2）削減効果（推計） 年間約21.6万トンのCO2削減効果</li> </ul>
55	脱炭素化に向けて、我慢するのではなく、前向きな気持ちで取り組む人が増えてほしい。そのための計画であってほしい。	原案どおり	<p>再生可能エネルギー由来電力への切り替えや省エネ家電の購入などに対するインセンティブ付与といった脱炭素の取り組みを後押ししていく施策を進めることで、脱炭素型ライフスタイル、ビジネススタイルへの転換を図ってまいります。</p>